

みずほCustomer Desk Report 2022/12/30号(As of 2022/12/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	134.18 AUD/USD
TKY 9:00AM	134.00	1.0628	142.48	1.2034	0.6749
SYD-NY High	134.40	1.0690	142.68	1.2075	0.6787
SYD-NY Low	132.88	1.0612	141.60	1.2017	0.6710
NY 5:00 PM	133.03	1.0662	141.80	1.2054	0.6777

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,220.80	345.09	日本2年債	0.0400%	0.0000%
NASDAQ	10,478.09	264.80	日本10年債	0.4500%	0.0000%
S&P	3,849.28	66.06	米国2年債	4.3646%	0.0093%
日経平均	26,093.67	▲ 246.83	米国5年債	3.9419%	▲0.0304%
TOPIX	1,895.27	▲ 13.75	米国10年債	3.8193%	▲0.0663%
シゴ日経先物	26,300.00	245.00	独10年債	2.4585%	▲0.0450%
ロンドンFT	7,512.72	15.53	英10年債	3.6560%	0.0060%
DAX	14,071.72	146.12	豪10年債	4.0550%	▲0.0100%
ハンセン指数	19,741.14	▲ 157.77	USDJPY 1M Vol	13.61%	0.26%
上海総合	3,073.70	▲ 13.70	USDJPY 3M Vol	12.56%	0.09%
NY金	1,826.00	10.20	USDJPY 6M Vol	11.58%	0.00%
WTI	78.40	▲ 0.56	USDJPY 1M 25RR	▲1.71%	Yen Call Over
CRB指数	276.01	▲ 1.34	EURJPY 3M Vol	11.75%	0.09%
ドルインデックス	103.84	▲ 0.63	EURJPY 6M Vol	11.32%	0.02%

東京	東京時間のドル円は134.00レベルでオープン。オープン後からじりじりと上昇し134.20をつけたものの、仲値にかけてはドル売りが優勢。中国の海外渡航制限撤廃による感染拡大懸念が嫌気されてか、リスクオフ地合が強まり、133円台半ば近辺まで下落。その後は133円台半ばで方向感のない値動きとなり、133.72レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.72レベルでオープン。方向感のない推移。133.55-88円でもみ合いほぼ変わらずの133.64レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は133.64レベルでNYオープン。朝方は米失業保険の新規申請件数や継続受給者数が発表されるも予想範囲内の結果だったことから市場の反応は限定的。その後、米長期金利がじりじりと低下したことや、流動性乏しい中でも米株が堅調に推移したことからリスク志向のドル売りが強まり、一時132.91まで下落。売りを巡り、133.30近辺まで反発するも、直ぐに安値圏まで戻す。終盤も上値重い推移が続き、132.88まで安値を更新後、133.03レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06レベル前半でスタートし、1.0653レベルでNYオープン。朝方から欧米金利差縮小や米株高を意識したリスク志向のドル売りが優勢となり、じりじりと1.0690まで上昇。午後は小幅値を戻し、1.0662レベルでクロス。

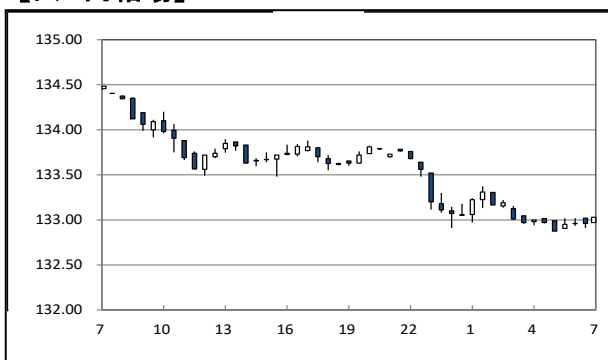
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月29日	22:30	米 新規失業保険申請件数	24-Dec 225k	225k

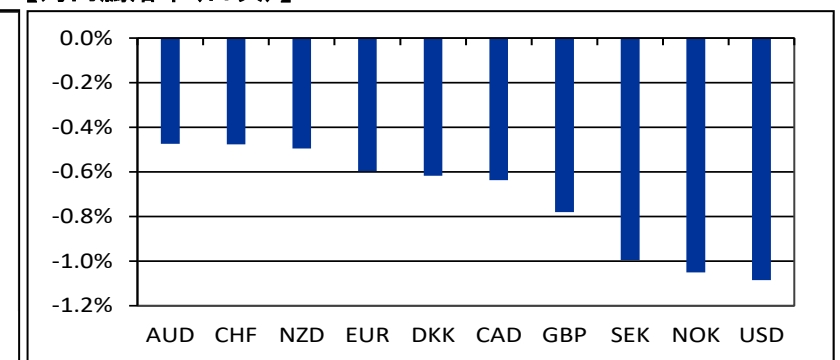
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
------	------	-------	----	----

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.00-134.00	1.0600-1.0700	141.00-143.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は5日ぶりに反落。東京時間には中国の海外渡航制限撤廃による感染拡大懸念にドル売りが優勢。海外時間に入っても米10年債利回りが一時3.81%台まで低下するとドル売りが先行。公表された米新規失業保険申請件数は予想通りの結果となり市場の反応は限定的であった。本日は月末日となり実需フローも見込まれず上値は限定的か。昨日NY時間からはドル売りの流れとなっておりその点に注視するとともに流動性の少ない中で上述フローやヘッドラインリスクによる突発的な値幅拡大に警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・松木